

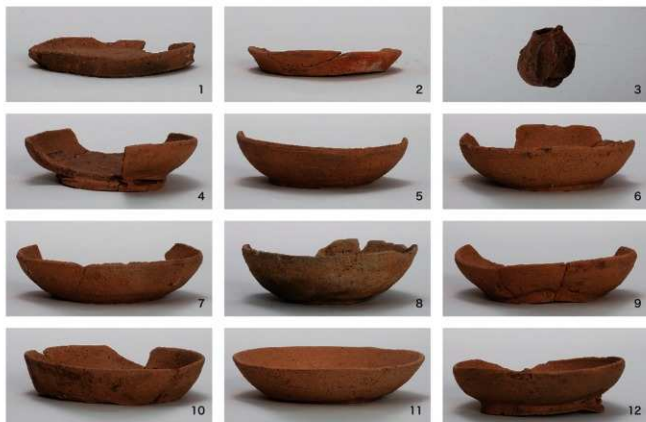
旧万寿寺跡第5次調査

旧万寿寺跡第7次調査

旧万寿寺跡第8次調査

旧万寿寺跡第9次調査

旧万寿寺跡第10次調査



10-SK037出土遺物(第7-71 図)



10-SK281 出土遺物(第7-207 図・第7-208 図)



10-SE225 (第7-232 図7)



10-SE225 (第7-232 図8)



10-SE225 (第7-232 図6)

10-SE350 (第7-236 図14)

旧万寿寺跡第10次調査出土石塔類・石製品

旧万寿寺跡第6次調査

旧万寿寺跡第7次調査

旧万寿寺跡第8次調査

旧万寿寺跡第9次調査

旧万寿寺跡第10次調査

旧万寿寺跡第5次調査



10-SK027 (第7-53 図7)

旧万寿寺跡第7次調査



10-SK160 (第7-128 図29)

旧万寿寺跡第8次調査



10-SK160 (第7-127 図25)

旧万寿寺跡第9次調査

旧万寿寺跡第10次調査



10-SK170 (第7-148 図7)



10-SD223 (第7-40 図14)

旧万寿寺跡第10次調査出土軒丸瓦

10-SK160 (第7-125 図4)



10-SK160 (第7-125 図2)



10-SK160 (第7-125 図3)



10-SK170 (第7-148 図8)



10-SK190 (第7-156 図17)



旧万寿寺跡第10次調査出土軒平瓦



10-SE325 (第7-243 図14)



10-SD233 (第7-40 図15)



10-SK160 (第7-129 図49)



10-SK038 (第7-73 図14)

旧万寿寺跡第10次調査出土鬼瓦・鳥表瓦



旧万寿寺跡第10次調査出土平瓦

旧万寿寺跡第6次調査

旧万寿寺跡第7次調査

旧万寿寺跡第8次調査

旧万寿寺跡第9次調査

旧万寿寺跡第10次調査

旧万寿寺跡第5次調査

旧万寿寺跡第7次調査

旧万寿寺跡第8次調査

旧万寿寺跡第9次調査

旧万寿寺跡第10次調査



10-SK085 (第7-97 図4)



10-SK085 (第7-97 図5)



10-SD090 (第7-14 図1)



10-SK160 (第7-137 図63)



10-SK160 (第7-139 図67)



10-SK160 (第7-140 図69)



旧万寿寺跡第10次調査出土丸瓦

報告書抄録

ふりがな	まこもさん まんじゅじあと きゅうまんじゅじあと だい6から10じちようさ
書名	舊山万寿寺跡 旧万寿寺跡第6～10次調査
副書名	都市計画道路庄の原佐野線(元町工区)建設に伴う埋蔵文化財調査報告書
巻次	—
シリーズ名	大分県立埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第6集
編者名	横澤慈 坂本嘉弘 吉田寛 宮内克己
編集機関	大分県立埋蔵文化財センター
所在地	〒870-0152 大分県大分市牧録町1-61 TEL. 097-552-0077
発行年月日	2019年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ° °	東経 ° ° °	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
きゅうまんじゅじあと 旧万寿寺跡 第6次調査	おおいたしおおあぎおおいた 大分市大字大分	44201	201052	33°22'65"	131°61'91"	110612- 120112	1,411	道路建設
きゅうまんじゅじあと 旧万寿寺跡 第7次調査	おおいたしおおあぎおおいた 大分市大字大分	44201	201052	33°22'61"	131°61'91"	130603- 140110	670	道路建設
きゅうまんじゅじあと 旧万寿寺跡 第8次調査	おおいたしおおあぎおおいた 大分市大字大分	44201	201052	33°22'63"	131°61'96"	140519- 150209	1,040	道路建設
きゅうまんじゅじあと 旧万寿寺跡 第9次調査	おおいたしおおあぎおおいた 大分市大字大分	44201	201052	33°22'60"	131°62'03"	140522- 150916	493	道路建設
きゅうまんじゅじあと 旧万寿寺跡 第10次調査	おおいたしおおあぎおおいた 大分市大字大分	44201	201052	33°22'61"	131°62'07"	150518- 160302	6,605	道路建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
旧万寿寺跡 第6次調査	寺院跡	中世	溝、土坑、大型土坑、 墓、井戸	土器、陶磁器、「寮」刻書土器、瓦、 鬼瓦	大型土坑に凝灰岩切石を 廃棄
旧万寿寺跡 第7次調査	寺院跡	中世	溝、土坑、墓、井戸、 銅銭一括出土遺構	土器、陶磁器、一括出土銅銭	14世紀代の墓地、 銅銭一括出土遺構
旧万寿寺跡 第8次調査	寺院跡	中世	溝、土坑、墓、井戸、 掘立柱建物跡	土器、陶磁器、高麗青磁壇、「舊山」 刻書土器、「舊山観音殿」墨書土器、 瓦	溝に礎石を廃棄
旧万寿寺跡 第9次調査	寺院跡	中世	溝、土坑、柱穴	土器、陶磁器	古代(9世紀代)の溝
旧万寿寺跡 第10次調査	寺院跡	中世	溝、土坑、井戸、墓、 柱穴列	土器、陶磁器、「万寿寺」刻書土器、 瓦	区画溝、柱穴列

要 約

「舊山万寿寺」は、徳治元年(1306)に豊後国守護大友貞親が筑前国博多の承天寺住持であった直翁智假を開山に招いて建立した禪宗寺院である。万寿寺は豊後府内で最大規模の敷地を有し、室町時代には十刹に列せられるような、西日本を代表する禪宗寺院のひとつとなる。兵火や火災による寺院の被災は数度に達しており、天正9年(1581)の火災で、七堂伽藍をはじめとした主要建物が焼失する。さらにその後、天正14年(1586)の豊薩戦争時の兵火で、万寿寺は焦土と化したとされている。発掘調査の結果、七堂伽藍に相当するような大規模建物跡や基壇などは発見されなかったが、寺院内の区画に関連する溝や柱穴列が検出された。また、大量の瓦や「万寿寺」「舊山」の刻書土器、「舊山観音殿」の墨書土器などの出土は、発掘調査地点に寺院が存在したことを考古学的に証明している。また、16世紀前半代的大型土坑に凝灰岩製切石が大量に廃棄されていたことや16世紀後半代の溝や井戸などに礎石と推定される大型の礎が廃棄されていたことなど、万寿寺の廃絶に関連する考古学的な所見も得ることができた。さらに、古代(8～10世紀代)の遺構の発見、14世紀代の墓地の存在や銅銭一括出土遺構の発見、万寿寺創建期を遡る12～13世紀代の墓や井戸などの発見は、万寿寺創建以前を含めた周辺の土地利用を検討する上で、貴重な資料を得ることができた。なお、本調査にて確認された溝や柱穴列などの主要遺構は、文化庁との協議の上、道路下に保存されることになった。

蔣山万寿寺跡

旧万寿寺跡第6～10次調査
(第3分冊 写真図版編)

都市計画道路庄の原佐野線（元町工区）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

大分県立埋蔵文化財センター調査報告書第6集

平成31年3月31日

編集・発行 大分県立埋蔵文化財センター
〒870-0152
大分県大分市牧緑町1-61
TEL. 097-552-0077

印刷 明治印刷株式会社
〒872-0001
大分県宇佐市大字長洲607
TEL. 098-38-0135
